

12月16日(水)13時30分から15時までふれあい交流室でマイナンバー制度についての行政出前講座を開催しました。参加者31名。講師は栄町住民課青木茂雄さん。初めにDVDで大まかな説明があり、その後マイナンバーがどのような場合に必要とされるのか、注意点なども参加者に合わせて(高齢者、年金者、子ども連れの若い人など)くわしい説明があり、とてもわかりやすく質問も時間を延長するくらい多くありました。十分に説明がなされ、特に「通知カード」がとても大事であることも確認でき、申請に

ついては義務ではないこともわかりました。参加者も納得のいく講座だったと思います。

「個人番号カード」の交付に関するお問合せは住民課戸籍住民班(Tel 33-7704)へ



ちば県民活動 PR 月間2015 賛同事業

【NPO・ボランティアフェアさかえ 開催】

12月1日(火)～12月20日(日)まで住民活動支援センターでNPO・ボランティアフェアを開催しました。栄町の活動団体を紹介しながらアンケートを行いました。アンケートの内容は「これからやってみたいと思うボランティアは何ですか?」です。107名の参加でした。

40代～70代までどの年代の人も福祉施設のボランティアや一人暮らしの高齢者の話し相手、高齢

者の食事や宅配に関わる事、買い物や病院などの送迎などの内容をあげています。子どもたちに昔遊びを教える、子どもボランティア、読み聞かせなどもあります。ほかに栄町紹介ボランティア、花植えなどたすけあいの気持ちがアンケートに記されていました。今後いろいろな方法でこの気持ちをつなげてみんなで住みやすいまちに行きたいと思っています。



お役立ち情報調査隊

＝全国の活動事例＝

泊まって実感 災害に備え

【横須賀市】

12月開催の栄町まちづくり大学防災学部公開講座で講師のNPO 法人日本防災士会高野甲子雄さんがマニュアル通りではなく実際に避難所に泊まってみるなどの防災訓練をやってみると自分たちで考えるきっかけになりますと言っていました。実際に宿泊体験会を実施している市があります。

横須賀市では1999年から1月の寒い時期、災害時に避難所となる学校の体育館などに、実際に泊まり込んで避難生活の一端を体験し、災害に備えようという試みが続けられている。毎年親子連れや視聴覚障害者、外国人ら約90人が参加している。寝袋や毛布など、寒さ対策に必要なものは自分で考え

全国には、自分たちの住むまちが心地よく、住みやすいまちになるように活動している人たちがたくさんいます。栄町のまちづくりに役立つような事例を紹介します。

て持参する。当日は5時に集合。夕食は非常食(レトルトカレー)。その後東日本大震災の映像を見たり、レクレーションをしたりして過ごした。消灯は10時。室温は10度。みんな寝袋や厚い靴下、カイロ、マフラーなど用意していた。参加者の感想に「いびきやトイレに行く人の足音、いろいろ用意してきたが寒くてほとんど眠れなかった。一晩だけですが良い経験でした。非常時に何を持ち出せばいいのかとか、日頃の備えを改めて考えるきっかけにもなりました」とある。

寒い中、健康な人だけに限りませんが宿泊体験会を開いてみるのもいいかもしれません。